

三鷹市立第五中学校 令和5年度【国語】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>○漢字学習を週1回継続的に 行い、小テストや定期考査で 定着度を確認した。</p> <p>○語彙を豊かにするために、 授業での辞書の活用を習慣化 させる。</p> <p>○定期的に振り返り自分の考 えをまとめ、書く力をつけて いく。</p>	<p>○授業開きで授業のルールやワークシートの書 き方、ノート整理の方法を徹底したため、主体 的に授業に取り組むことができています。</p> <p>○ICTを活用して、意見や感想の共有を行うこと で、所持が苦手な生徒も抵抗感なく、自分の考 えを表現できている。</p> <p>○小集団（ペアや4人グループ）の意見交流に意 欲的に取り組んでいるが、まだ偏りがあるため 経験を積んでいくことが必要だ。</p> <p>○漢字小テストを毎週授業で行い、語句の意味 も辞書を使って調べる体験を積み重ねること で、基本的な知識を身につけさせている。</p> <p>○自分の考えを表現することに苦手意識をもつ 生徒がいる。記述式の課題になると手が止まる 生徒がいるので、自分の考えを文に表現して いくことの抵抗感を減らすため、機会を増やすこ とが課題である。</p>	<p>○教材提示の仕方を工夫し、生徒の「どうして」を引き出さ せることで、主体的に学べる授業にしていく。</p> <p>○個の学習→小集団学習→全体学習→個の学習という授業形 態を基本的に継続していく。</p> <p>○語彙を豊かにするために、家庭学習での辞書の活用を習慣 化させる。朝読書を継続的にやり、語彙を増やすきっかけに する。</p> <p>○ワークシートに毎時間課題を書いたり、振り返りを書いた りして、短作文を繰り返すことで、自分の考えをまとめて書 く力を身につけていく。</p> <p>○原稿を作り発表活動（レポート発表会、ピブリオバトル、 スピーチ練習）をする機会を作る。</p>
第2学年	<p>○漢字テストを週1回継続的 に行い、小テストや定期考査 で定着度を確認した。必要に 応じて授業外の時間に補習を 行い、学習の時間を確保でき た。</p> <p>○語彙を豊かにするために、 授業での辞書の活用を習慣化 することで、語の意味を理解 しながら題材に取り組むこと ができた。</p> <p>○ノートに各単元ごとに振り 返りを書かせたり、目的を明 確にした短作文の練習を繰り 返し取り入れることで、自分 の考えをまとめ、書く力の定 着を図った。</p>	<p>【現状】</p> <p>○ノートの作り方について、昨年度に示した ベースを基にそれぞれの生徒がよりわかりやす いよう、思考を整理できるように工夫して作成 している。</p> <p>○個の学習→小集団学習→全体学習→個の学習 という授業の流れを継続しているため、多くの 生徒が見通しや課題意識をもって授業に臨むこ とができている。</p> <p>○単元ごとの評価基準を示すことで、具体的な 課題の取り組み方や目標、達成度を確認しなが ら授業に臨めるようにしている。</p> <p>【課題】</p> <p>○題材について自分の考えをもったり、自分の 知識や経験と結び付けて意見を述べることに苦 手意識の強い生徒が、各学級に1割程度いる。</p> <p>○板書をノートに書き写すことができない生徒 への、合理的配慮も含めた手立ての検討が必要 である。</p>	<p>【指導方法の課題】</p> <p>○自分の考え、意見を整理しまとめる時間の確保と、苦手意 識のある生徒への補助的な手立ての開発。</p> <p>○自分の意見と他人の意見を比較したりして、より考えを深 めたり新たな視点を得ることができる効果的な意見交流の機 会の設定。</p> <p>【授業改善策】</p> <p>○課題（題材）を極力具体的に明確な言葉で示すようにす る。意見記述の課題については、穴埋め形式のワークシート 等で文の形に慣れさせるなどの手立てを工夫する。</p> <p>○意見交流の際の役割分担と目的を明確に提示する。“参加 できない”という生徒が出ないよう、巡視の中で助言するな どして補助しつつ、進行役、発表者、聞き手それぞれの姿勢 について意識付けを行う。</p>
第3学年	<p>○個の学習→小集団学習→全 体学習→個の学習という授業 形態を継続し、個の学習を深 めることができた。</p> <p>○漢字小テストを毎回の授業 最初に行っているが、10分 くらいで終了できる。</p> <p>○ワークシートに毎時間課題 を書いたり、振り返りを書い たりして、短作文を繰り返す ことで、自分の考えをまとめ て書く力を身につけてた。</p>	<p>○主体的に学べるノート作りに入れ、振り 返りは次の学習につながるような記述ができる ようになってきた。受験作文では、目的に応じ て材料を選択し、伝えたいことを明確にし構成 を工夫して書けるようになることが課題であ る。</p> <p>○朝読書を継続的にやり、語彙を増やしてい るが、ピブリオバトルのための読書、修学旅行事 後学習作りのための資料探しを通して語彙を更 に増やすことが課題である。</p> <p>○原稿を作り発表活動をしているが、原稿から 目を離し、効果的に伝わるように表現を工夫す ることが課題である。</p>	<p>○受験作文では、目的に応じて材料を選択し、伝えたいこと を明確にし構成を工夫して書けるようになるため、毎月1回 ずつ作文を書く場面を設定し、書く機会を増やす。</p> <p>○ピブリオバトルのための読書、修学旅行事後学習作りのた めの資料探しや、国語の授業でも幅広く資料を探す場面を設 定して、語彙を増やせる授業にする。</p> <p>○原稿から目を離し、効果的に伝わるように表現を工夫す ることができるように、原稿を読むだけで終わらない、説得力 がある発表経験をするよう、小集団発表→全体発表という授 業形態を継続し、発表する力を高めていく。</p> <p>○都立入試問題を解くため、年度の後半は文章を速く正確に 読み取らせる指導をしていく。</p>